sysmex

第53期　期末株主通信
2019年4月1日―2020年3月31日
証券コード 6869

Be Fine!

株主の皆様とシスメックスをつなぐコミュニケーション誌

特集

新型コロナウイルス感染症への取り組み

4ページ

医療従事者への感謝を示す青色のライトアップ（神戸）

Lighting the way with diagnostics

詳細な財務情報は、シスメックスのIRウェブサイトをご覧ください。 www.sysmex.co.jp/ir/

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

国内・海外ともに増収となるも、利益は前年同期を下回りました。

代表取締役会長兼社長 CEO
家次 恒
いえつぐ ひさし
【出身地】大阪【略 歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亞医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）に入社。1996年に代表取締役社長、2013年に現職に就任。【趣 味】読書、スポーツ観戦
【信 条】「意あらば通ず」

ポイント1 円高の影響などを受けるも、国内・海外ともに伸長し、増収を達成

ポイント2 当期利益*は、為替差損や持分法投資損失、税負担率の増加などにより減益

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、感染の拡大防止にご尽力されている皆様に心より感謝申し上げます。

当社グループの2020年3月期 通期の業績は、円高や、一部の地域において新型コロナウイルス感染症の影響を受けるも、国内・海外ともに伸長し、増収となりました。一方で、円高の影響に加え、米州や中国におけるサービスコストの増加などにより原価率が悪化し、営業利益は減益となりました。また、当期利益も為替差損や持分法投資損失、税負担率の増加などにより減益となりました。売上高は前年同期比2.9%増、営業利益は同9.8%減、当期利益は同15.4%減となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比6.9%増、営業利益は同1.2%減となります。

国内は、ヘマトロジー分野*、血液凝固検査分野における機器売上の伸長や、機器の設置台数の増加に伴う試薬売上の伸長などにより、増収となりました。海外は、ヘマトロジー分野における試薬売上を中心に伸長し、増収となりました。これらの結果、当社グループの海外売上高比率は84.5%となりました。

配当につきましては、年初予想の通り、1株につき年間で72円（中間36円、期末36円）といたしました。これにより18期連続の増配となり、連結配当性向は43.1%となります。今後も継続的な安定配当を目指してまいります。

2021年3月期の通期連結業績見通しおよび配当につきましては、新型コロナウイルスのグローバルな感染拡大が市場の需要動向に与える影響を精査中であり、現段階では合理的な業績予想の算出が困難であるため、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

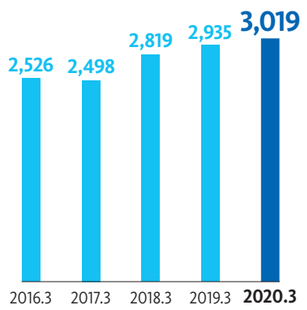
株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

*当期利益：親会社の所有者に帰属する当期利益。

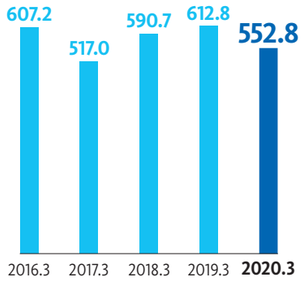
売上高（億円）

前年同期比 2.9%増



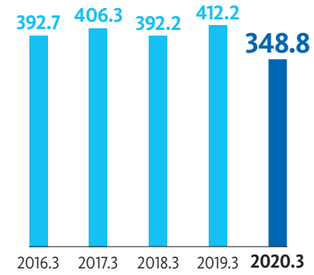
営業利益（億円）

前年同期比 9.8%減

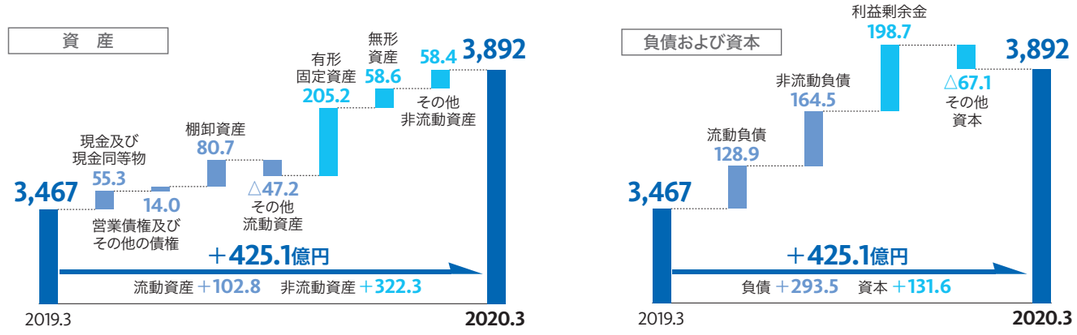


当期利益*（億円）

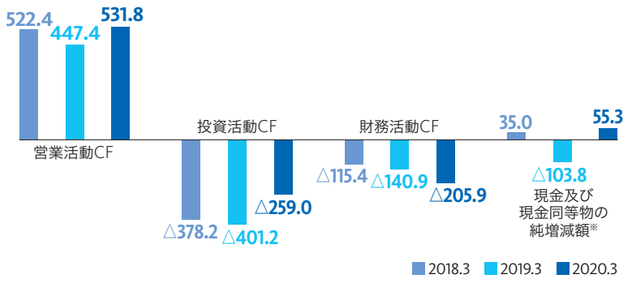
前年同期比 15.4%減



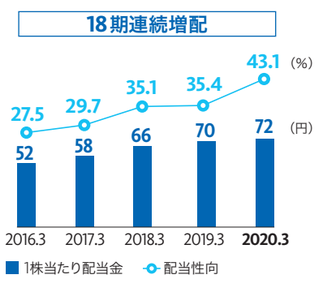
連結財政状態計算書の増減要因（億円）



キャッシュ・フローの推移（億円） ※現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております。



1株当たり配当金／配当性向



利益配分（配当）に関する考え方について：当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

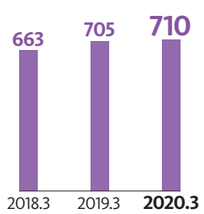
*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

セグメント情報（2020年3月期）

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

地域別売上高（億円）

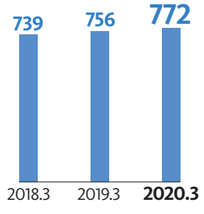
米州



前年同期比 **0.7%増** ↑　現地通貨ベース **2.8%増**

米国の血液凝固検査分野、尿検査分野の売上や、中南米の代理店向け売上が減少するも、北米でヘマトロジー分野*の試薬売上が伸長し、増収

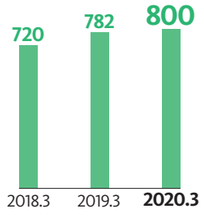
EMEA*



前年同期比 **2.1%増** ↑　現地通貨ベース **8.4%増**

各地域でヘマトロジー分野の試薬売上が伸長したほか、イギリス、フランスで尿検査分野の直接販売などが伸長し、増収

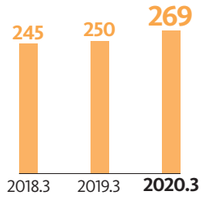
中国



前年同期比 **2.3%増** ↑　現地通貨ベース **8.4%増**

第４四半期の新型コロナウイルス感染拡大の影響により試薬売上が減少するも、機器売上が伸長し、増収

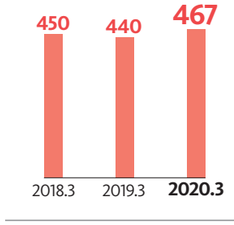
アジア・パシフィック



前年同期比 **7.6%増** ↑

主にインドネシアで機器売上が減少するも、インドでの売上伸長や、東南アジアを中心としたヘマトロジー分野の試薬売上の伸長などにより、増収

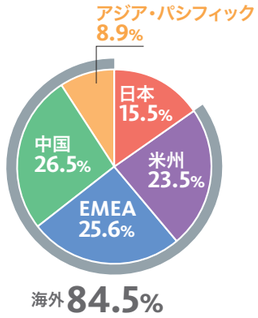
日本



前年同期比 **6.0%増** ↑

ヘマトロジー分野、血液凝固検査分野における機器売上の伸長や、機器の設置台数の増加に伴う試薬売上の伸長などにより、増収

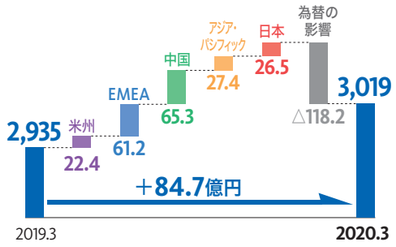
地域別売上高構成比



海外 **84.5%**

地域別売上高の増減（億円）

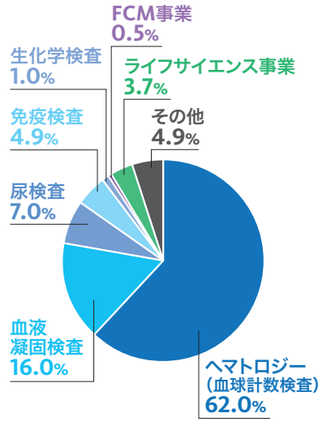
※各地域の売上高は為替の影響を除く



■為替レート（円）

	2018.3	2019.3	2020.3
1 USドル	110.9	110.9	108.7
1 ユーロ	129.7	128.4	120.8
1 中国元	16.8	16.5	15.6

事業別売上高構成比



*EMEA：欧州、中東、アフリカ地域。

*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

特集

新型コロナウイルス感染症への取り組み

世界各地で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染が拡大するなか、感染拡大初期より対策プロジェクトを立ち上げ、さまざまな対応を進めてきたシスメックスの取り組みについてご紹介します。

製品・サービスの安定供給を継続

医療に必要な検査を止めないために、世界各地のすべての工場を稼働し、製品・サービスの安定供給を継続しています。

病気の診断や治療方針の決定など、日々さまざまな場面で行われる検査は、医療に不可欠です。シスメックスは、検体検査の製品・サービスを世界190カ国以上にお届けする企業として、このような未曽有の事態においても検査業務が停滞することのないよう、全力を挙げて対応しています。機器・試薬の生産工場は滞りなく稼働しており、製品や原材料の在庫も確保し、お客様への安定供給を実現しています。検査機器のサポートについても、これまで強化してきたオンラインサポートの仕組みなどを活用しながら、直接販売地域でのサポートに加え、代理店へのサポートも継続して実施しています。

医療や人々の健康を支える活動を世界各地で実施

新型コロナウイルス感染症患者さんの受け入れ病院への機器の設置をはじめ、世界各地で医療や人々の健康を支える活動を実施しています。

【世界各地での活動例】

- 機器のオンラインサポートの実施（複数国）
- 医療機関へのマスクや防護服の寄付（中国）
- 自家製消毒液を製造し貧困層へ寄付（ブラジル）
- 検査技師への昼食の配達（アメリカ）
- 新型コロナウイルスに関連する学術情報の提供（ドイツ）

中国武漢市では、患者さんの急増に対応するため短期間で臨時に建設された病院にも、当社のヘマトロジー・尿・血液凝固・免疫検査分野の製品が導入されました。

武漢市の病院で機器の設置に携わった当社従業員

PCR検査拡充への取り組み

**新型コロナウイルスの感染拡大を抑制し、重症化を防ぐうえで、検査は重要な役割を果たします。
シスメックスは、試薬の提供や検査体制の構築を通じて、
新型コロナウイルスの感染の有無を調べるPCR検査の拡充に取り組んでいます。**

■国内初、新型コロナウイルス検査キットの薬事承認を取得

病院などの医療機関でPCR検査を広く実施するために、薬事承認を受け、保険診療下で使用できる検査試薬が必要とされていました。シスメックスは2020年3月に、日本で初めて新型コロナウイルス検査キットの薬事承認を取得し、いち早く医療機関などに提供してきました。本製品は、リアルタイムPCR装置とともに利用することで、鼻の奥から採取した粘液などを用いて新型コロナウイルスのRNAを検出することができます。本製品の提供を通じて、指定感染症検査を実施することが可能な医療機関における、新型コロナウイルスの臨床検査実施体制の構築に寄与しています。

新型コロナウイルス検査キット（BGI社より仕入れ）

■官民連携で、新型コロナウイルス感染症のPCR検査体制を構築

シスメックスが本社や研究開発など主な拠点を置く神戸市では、今後のさらなる感染拡大に備え、市内のPCR検査体制の強化が進められています。シスメックスは、神戸市と株式会社エスアールエルとともに、神戸医療産業都市内の衛生検査所「シスメックス BMAラボラトリー」にPCR検査体制を新たに構築し、2020年6月1日から運用を開始しました。まずは軽症者・無症状者の宿泊療養施設における退院時のPCR検査から実施し、段階的に1日に100検体を調べられる体制まで強化する予定です。なお、本件のPCR検査には、左記の検査キットを活用しています。この取り組みを通じて、新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされている地域の皆様の身体的、精神的負担の軽減を目指します。

「シスメックス BMAラボラトリー」でのPCR検査の様子

**世界各地の医療現場、
そして人々の暮らしが一日も早く正常な状態に戻ることを願い、
シスメックスは活動を続けてまいります。**

新たな検査の開発・実用化

PCR検査以外にも、新型コロナウイルス感染症の診断・治療に役立つさまざまな検査の開発・実用化を推進しています。

■抗原検査

抗原検査は体内のウイルスの有無を測定する検査で、PCR検査に比べ、測定結果を迅速に確認できることが特徴です。抗原検査を最初に行い、PCR検査を必要な方のみに提供することで、新型コロナウイルスの検査総数を増やし、診断の迅速化や、医療機関の負担軽減につなげることが可能です。シスメックスは全自動免疫測定装置HISCLを用いた抗原検査の開発を進め、5月中旬より臨床評価を開始し、早期の薬事承認の取得を目指しています。

測定時間17分

高感度

全自動免疫測定装置HISCL

■抗体検査

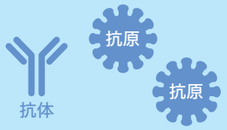
過去・現在に感染したかどうかを調べる抗体検査についても、HISCLを用いた測定法の開発を完了し、5月中旬より臨床評価を行っています。まずは研究用として早期に発売することを予定しています。

■重症度予測・治療モニタリング検査

新型コロナウイルスに感染した場合の重症度を治療初期に予測したり、治療の効果をモニタリングする検査の開発にも取り組んでいます。

「抗原」「抗体」とは…

体内に侵入してきたウイルスなどの病原体を「抗原」、それを取り除くために身体がつくり出す物質を「抗体」と呼びます。抗原がある場合は「今、感染している」、抗原がなくて抗体がある場合は「過去に感染していた」ことなどが分かります。



従業員の雇用維持と安心して勤務できる環境の整備

**パートタイマーや派遣社員を含め、グループ全体で9,000名以上の従業員の雇用を維持し、
安心して勤務できる環境を整備しています。**

感染防止のため、各国のグループ会社ではテレワークを推進しています。従来より、オンラインで経費精算やビデオ会議を行う仕組みなど、リモートでも勤務できる環境を整備していたため、迅速に対応することができました。日本の本社地区（兵庫県）では、8割以上の従業員がテレワークを実施しています（生産部門や物流部門などは除く）。サービス&サポート拠点や生産工場・研究開発拠点など、現地で勤務する必要のある従業員については、時差出勤の活用や、衛生面などにおける感染防止策を徹底し、従業員やそのご家族・関係者の方の安全を確保する対策を行っています。

会社概要 (2020年3月31日現在)

■**商号** シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION

■**設立年月日** 1968年2月20日

■**資本金** 128億7,774万円

■**格付け** AA- (R&I:格付投資情報センター)

■**従業員数** 9,231名(連結) 2,638名(単独)
＊嘱託・パートタイマーなどを含む

■**主な事業内容** 臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

■**役員** (2020年6月19日現在)

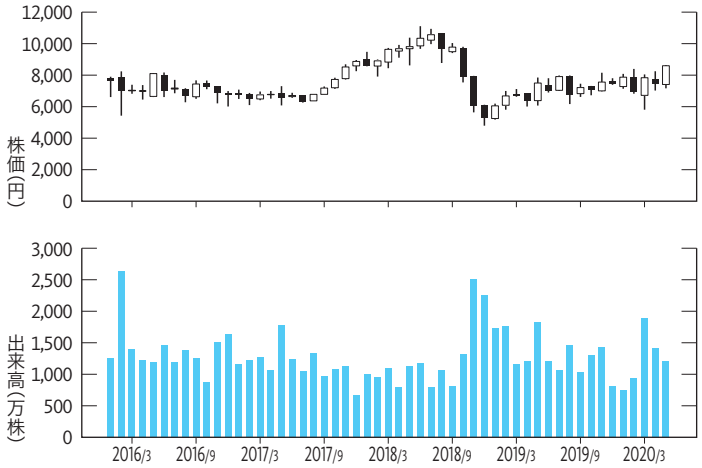
代表取締役会長兼社長 CEO	家次 恒
取締役 専務執行役員 CFO	中島 幸男
取締役 専務執行役員 LSビジネスユニット COO 兼 CTO	浅野 薫
取締役 専務執行役員 IVDビジネスユニット COO	立花 健治
取締役 常務執行役員	山本 純三 松井 石根 神田 博
社外取締役	髙橋 政代 太田 和男
取締役(監査等委員)	釜尾 幸俊
社外取締役(監査等委員)	橋本 和正 岩佐 道秀
上席執行役員	濵口 行雄 大谷 育男 久保田 守 吉田 智一 飯塚 健介
執行役員	藤本 敬二 彭 作輝 Frank Buescher 小野 隆 金川 晃久 Alain Baverel

株式の状況 (2020年3月31日現在)

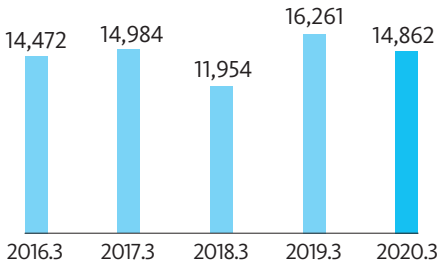
■**会社の発行可能株式総数** 598,688,000株

■**発行済株式総数** 209,266,432株

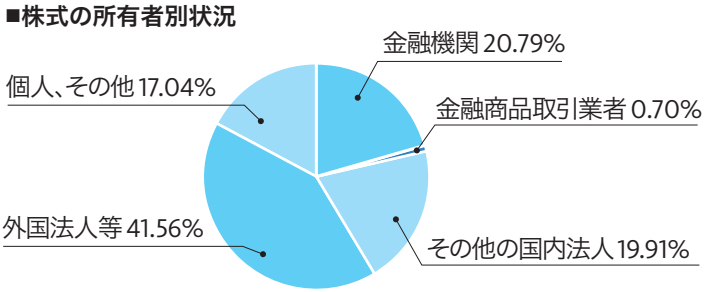
■**株価・出来高の推移** (2020年5月31日現在)



■**株主数の推移** (人)



■**株式の所有者別状況**



株主メモ

■**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで

■**定時株主総会** 6月

■**基準日**

定時株主総会	3月31日
期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日

その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■**公告方法**
当会社の公告方法は、電子公告とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告掲載ホームページアドレス www.sysmex.co.jp/ir/

■**上場証券取引所** 東京証券取引所市場第一部

■**証券コード** 6869

■**単元株式数** 100株

■**株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関**
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

■**同連絡先** (郵便物送付先・電話照会先)
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)

お知らせ

1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

シスメックス株式会社
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 〒651-0073 Tel 078-265-0500 Fax 078-265-0524 www.sysmex.co.jp

再生紙、植物油インキを使用しています。